

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>8 番 稲葉親太郎</p>	<p>1 大涌谷の火山活動に関する今後における対策等について</p>	<p>箱根は火山活動の恩恵である「多彩な温泉」や「変化に富んだ風景」などにより、国内外から年間 2,000 万人もの観光客をお迎えしているところですが、私たちの生命や財産に計り知れない被害を与える恐ろしい自然災害を引き起こす危険性を併せ持っています。と、箱根町ホームページ上に山口町長のメッセージが記載されております。この度の大涌谷での事象が長期化するにつれ、町民及び事業所を構えている方達は、先が見えない危機感を抱え日々をお過ごしかと拝察致します。</p> <p>町長を始め当局、議会、民間組合もこの当町の危機的状況打破の為に努力されているわけですが、6 月 30 日に噴火レベル 2 から 3 に引き上がり、4 月末から 4 カ月弱を経過する所でございますが、種々さまざまな会議に参加させていただいて見聞きすると、全町的に観光に訪れるお客さんが低迷する中、観光関係事業所の売り上げ減少に伴いその事業所における雇用関係は大変厳しくなる状況下と推察致します。また、蒸気噴出が活発な周辺では、火山性のガスが混入していると思える蒸気の影響により山肌の樹木が緑色から茶褐色に変色し、早雲山周辺まで及んでいるかと思受けられます。</p> <p>また、大涌谷直下の早川では、レベルが 2 から 3 に引き上げられる頃には河川の水が黄濁色に変化して、早川河口まで影響が出ている旨のお話を聞いております。</p> <p>現在の状況を踏まえて、以下何点かについて質疑させていただきます。</p>

		<p>①私の聞き及ぶところでは、多くの町民の方が噴火レベル低下の見通しが見つからない現在においては、当町の現況が、非常事態に近い状態との認識にて危機感を募らせている方が増えているのが現状ではないかと思えます。</p> <p>町でつくられている箱根町地域防災計画の第5編特殊災害対策編の第1章火山災害編では、レベル3では災害対策連絡会議を開催し、対応や体制について調整すると記されており、レベル4になって、事態の推移に伴い、速やかに災害対策本部を設置し、Ⅱ号配備体制を敷くと記されており、過去の事例としてレベル2では2001年6月～10月地震活動の活発化、山体の膨張を示す地殻変動、噴気異常等の熱活動の活発化などが記されて、レベル3以上では過去の事例は有史以降の事例はないと記されておりますが、そこで、当町のこの危機的状況を乗り越えるために国や県が様々な施策や助成を行って頂いているようですが、不安な日々をお過ごしの町民の方達への相談窓口がどのようになっているのかお伺いします。</p> <p>②この事象が起因により、当町にございます多くの事業所や個人収入は例年より減少傾向になるかと思えます。</p> <p>町当局もすでに特定政策推進室を構築し、財政膠着への布石として町民への説明会等を実施され打開策を講じられようとしておられる時でしょうが、約90%が観光で生業をたてられている当町の現状において、このまま推移していけば、税収全般も減少が進むと思われませんが、現在の平成27年度歳入状況がどのようになっているのか、また、今後においての</p>
--	--	---

		<p>国や県などの助成についての有無やその動向等についてお伺いいたします。</p> <p>③この事象が始まり約 4 ヶ月弱経過され、大涌谷周囲の自然環境は様々な変化が生じておりますが、蒸気噴出口周囲は宮城野から見ると左側山肌の樹木が緑色から茶褐色に変色し、早雲山周辺まで及んでいるかと思受けられます。</p> <p>また、早川の清流は黄濁色に変化し河床はやや赤色がかって来ており、岩にはコケの繁殖が見受けられなくなり、野鳥の数やさえずりも心なしか減っているような今現在かと思われます。</p> <p>大涌谷蒸気噴出に伴い、このような自然環境が推移していく中において、特に人体に支障を来すようなガスや灰の有無の状況の確認及びその他の事象についてのご見解並びに噴火レベルが下がったときの噴気口周辺の土砂崩れ等の防災面についてのお考えを伺います。</p> <p>④最後に質問させていただくのが、やはり大変苦戦を強いられている誘客活動ですが、8月の土用波が押し寄せる時期になりますと例年、海から山へと観光客のニーズが推移され、8月16日をピークに段々減少傾向にあるかと思いますが、今年はこの大涌谷の事象により宿泊業は予約が入りづらく飲食業や観光に関わる全ての業界に暗雲がかかっている状況にあると思えます。</p> <p>野球のセオリーでは、よくピンチの後にチャンスありという話があり、例えば、ICTの技術も視野に入れながら定点カメラやジオラマなどを活用し大涌谷に行けなくても、その風景を堪能できるような臨時のスポットを開設する他に今、ま</p>
--	--	--

		<p>さに起きているジオの息づかいを利活用を考慮に入れ、もう少し鮮明に情報を流す等の工夫をしながら、効率的に誘客につなげる手法を考えておられるか、また、4年前の東日本大震災後の当町の補正予算により可決された箱根元気クーポン券に似通った目的で再び検討することができないかをお伺いいたします。</p> <p>国会議員や黒岩県知事や各市町村の首長さん達並びに各議員さんも今まで、当町に対して応援のエールを送っていただいていると思いますので、一刻も早くの大涌谷火山活動の終息と立入規制が解禁することをお祈りいたしまして、以上、大涌谷の火山活動に関する今後における対策等について4点にわたり、町長のご所見をお伺いいたします。</p>
--	--	---